

②二戸市国土強靱化地域計画重点化施策の実施状況  
— 平成30年度 —

達成度	A 目標達成・近づいている
	B おおむね近づいている
	C 進展なし・遠のいている

重点化施策		KPI 【 】は達成度	評価	今後の方向性
(1) 個別施策分野	① 行政機能	■消防団員数 811人(H29) → 800人(H32) H30実績 … 806人 【A】	・退団者が39名あったが、途中入団が14名、4/1入団が20名あり、目標は達成している。	・消防団協力事業所制度を促進する。 ・今後についても団員の減少が予想されるため、機能別消防団員制度の導入を検討する。
		■自主防災組織加入率 55.1%(H29) → 75%(H32) H30実績 … 55.4% 【C】	・浄法寺下林地区に県のモデル事業を活用し、結成に向け取り組んだが結成には至らず、自主防災組織の新規結成はなかった。	・浄法寺下林地区へ、引き続き結成に向けた支援を行う。
		■自治体連携の枠組み 4件(H29) → 5件(H32) H30実績 … 5件 【A】	・戸のサミット、平成南部藩、イチニのサン元気な東北発信事業、北緯40° ナニヤトヤラ連邦会議に加え、新たに横浜市と再生可能エネルギー活用を通じた連携協定を締結し、目標に達した。	・引き続き、連携した事業を実施する。 ・新たな枠組みを検討する。
		■業務継続計画 未策定(H29) → 策定(H32) H30実績 … 未策定 【C】	・策定には至らなかった。	・令和2年度内までの策定を目指し、資料の収集・整理を行い検討を進める。
	② 市民生活	■木造住宅耐震診断戸数 15戸(H29) → 15戸(H32) H30実績 … 0戸 【C】	・耐震診断・耐震改修とも実績がない。住民の防災意識向上と制度の周知が課題である。	・県と合同での戸別訪問や広報による周知など、制度の周知・啓発につなげる方策について検討が必要である。
		■空き家バンクによる賃貸売買成約数(延べ) 0戸(H29) → 3戸(H32) H30実績 … 0戸 【C】	・空き家バンク開設に向けて検討したが、開設までには至らず、賃貸売買成約はなかった。	・空き家バンクを開設する。 ・空き家バンクの活用について宅建協会や建築士会などの関係団体と協議を継続する。
		■特定健診受診率 43.0%(H29) → 50.0%(H32) H30実績 … 速報値47.9% 【A】	・平成30年度に目標としていた46.0%を超える見込みになっている。 ・確定(法定報告)は11月	・引き続き受診率向上対策を継続する。
		■地域子ども・子育て支援拠点数 3箇所(H29) → 5箇所(H32) H30実績 … 5箇所 【A】	・市子育て支援センター、民間保育施設で実施した。(4民間施設のうち2園は、実施内容、回数等が国補助事業基準には該当しないものの、同様の事業を実施している。)	・支援が必要な子どもの利用が増えていることから、保育士を追加配置し、支援を拡充する。 ・国基準に該当しない2園について、該当するよう努める。
		③ 産業・経済	■新規就農者 6人(H29) → 15人(H32) H30実績 … 9人 【B】	・H30年度は3人増えて、全体で9人となった。

# 二戸市国土強靱化地域計画重点化施策の実施状況

— 平成30年度 —

達成度	A 目標達成・近づいている
	B おおむね近づいている
	C 進展なし・遠のいている

重点化施策		KPI 【 】は達成度	評価	今後の方向性
(1) 個別施策分野	③ 産業・経済	■ 集落営農組織・農業法人数 2組織(H29) → 4組織(H32) H30実績 … 4組織 【A】	・新たに、山内営農組合、安比川水利組合が設立された。	・今後は、集落営農組織の法人化に向けて、継続的な支援を行う。
		■ 公共施設再生可能エネルギー等施設導入数 3施設(H29) → 5施設(H32) H30実績 … 3施設 【C】	・再生可能エネルギー等を導入した公共施設はなかった。	・公共施設を整備する場合には、再生可能エネルギー等の導入を検討する。
		■ 二戸型住宅の建築件数(延べ) 0件(H29) → 30件(H32) H30実績 … 0件 【C】	・高気密高断熱な住宅である二戸型住宅の登録事業者は、二戸市内では4者のみであり、建築費が高額であることから、建築はなかった。	・建築士会内での登録を促進する。 ・市民に対して周知を図るとともに、ニーズ調査を検討する。
	④ 社会基盤	■ 市道改良延長 300.5m(H29) → 304m(H32) H30実績 … 302m 【A】	・市道眞木米内線、他3路線の整備を行い、うち市道白鳥線、市道下構中田線は完成した。	・事業効果の早期発現のため、社総交を始めとした財源を確保し、早期完了を目指す。
		■ 市道舗装補修 1,550m(H29) → 3,500m(H32) H30実績 … 311m 【C】	・市道安比上野川原線の舗装補修を実施した。	・既存ストックの維持管理と社総交を始めとした財源を確保する。
		■ 市民協働道路整備地区 12箇所(H29) → 18箇所(H32) H30実績 … 1箇所 【A】	・堀野大川原毛地区に着手した。	・堀野大川原毛地区の完了。 ・堀野馬場地区、堀野下夕川原地区に着手する。 ・制度を周知する。
		■ 橋梁補修 6橋(H29) → 12橋(H32) H30実績 … 5橋 【A】	・大築橋、他4橋の補修を行った。	・斗米橋は継続、上野橋の整備を実施する。 ・R3に実施する定期点検に向けた、既存ストックの精査を行う。
		■ 土地区画整理事業整備面積 49.4ha(H29) → 54.3ha(H32) H30実績 … 47.8ha 【C】	・国に提出した事業計画どおりの事業費が確保できておらず、事業進捗が大きく遅れている。現状の限られた財源では十分な事業費の確保は難しいため、計画どおり進めることは困難である。	・財源及び事業費を確保し、予定よりも遅れている進捗率について挽回していく必要がある。
		■ 除雪機械更新台数 0台(H29) → 4台(H32) H30実績 … 1台 【A】	・除雪ドーザ1台の更新を行った。	・機械器具の適切な維持管理と適期の更新を行う。

# 二戸市国土強靱化地域計画重点化施策の実施状況

— 平成30年度 —

達成度	A 目標達成・近づいている
	B おおむね近づいている
	C 進展なし・遠のいている

重点化施策		KPI 【 】は達成度	評価	今後の方向性
(1) 個別施策分野	④ 社会基盤	■ 小型除雪機械購入台数 27台(H29) → 36台(H32) H30実績 … 10台 【A】	・10台の購入を行った。	・市民ニーズの把握と市民協働による除排雪を推進する。
		■ コミュニティバス利用者数 34,300人(H29) → 35,000人(H32) H30実績 … 30,325人 【C】	・コミュニティバス利用者は30,325人で前年度比3,494人の減となった。 ・通常路線 24,674人(-2,091人) ・循環路線 5,651人(-1,403人)	・市民ニーズに沿った路線やダイヤの見直しを行う。 ・通学助成などの利用促進施策を検討する。
(2) 横断的分野	① 共創	■ 消防団員数(再掲) 811人(H29) → 800人(H32) H30実績 … 806人 【A】	・退団者が39名あったが、途中入団が14名、4/1入団が20名あり、目標は達成している。	・消防団協力事業所制度を促進する。 ・今後についても団員の減少が予想されるため、機能別消防団員制度の導入を検討する。
		■ 自主防災組織加入率(再掲) 55.1%(H29) → 75%(H32) H30実績 … 55.4% 【C】	・浄法寺下林地区に県のモデル事業を活用し、結成に向け取り組んだが結成には至らず、自主防災組織の新規結成はなかった。	・浄法寺下林地区へ、引き続き結成に向けた支援を行う。
		■ 観光客数 52万人(H29) → 70万人(H32) H30実績 … 524,237人 【C】	・観光入込客数は、524,237人で横ばいとなった。	・魅せる産業観光を進める中で、事業者と連動した観光産業振興を推進をしていく。
		■ 就職決定者数 100人(H29) → 100人(H32) H30実績 … 78人 【B】	・求職者等への各種セミナーにより、企業及び求職者のマッチング機能の強化を図った。 ・学校との連携による情報発信にも努めた。	・イベント等の開催時期、対象学年等内容の見直しを検討する。
		■ 支援事業者数(年) 5件(H29) → 3件(H32) H30実績 … 6件 【A】	・このへ産業フォローアップ事業では、目標を上回る事業者を支援することができた。	・引き続き、事業者の掘り起こしと継続事業者のフォローアップにより事業者支援を行う。
		■ 創業者数(延べ) 4件(H29) → 10件(H32) H30実績 … 1件 【C】	・創業に関する相談は数件あるものの、実際に創業にむすびついた件数は1件となった。	・国などの補助・支援制度を活用しながら、引き続き支援をしていく。
		■ 二戸地区拠点工業団地分譲率 37.5%(H29) → 72.9%(H32) H30実績 … 41.4% 【B】	・工業団地分譲については、地域経済牽引事業に関連して土地購入に至った。	・企業誘致が難しい経済情勢の中で、地域企業の立地を中心に立地に努める。

# 二戸市国土強靱化地域計画重点化施策の実施状況

— 平成30年度 —

達成度	A 目標達成・近づいている
	B おおむね近づいている
	C 進展なし・遠のいている

重点化施策		KPI 【 】は達成度	評価	今後の方向性
(2) 横断的分野	① 共創	<p>■ 町内会等自主組織の組織率 92.1%(H29) → 95.7%(H32) H30実績 … 93.2% 【B】</p>	<p>・組織率は、1.1ポイント増加し、93.2%となった。 対象数:161団体 設立数:150団体 未設立:11団体</p>	<p>・未設立地域の行政連絡員等リーダーへの聞き取りなどを通じて地域の現状と課題を把握するとともに、自主組織の必要性を説明し、必要に応じて組織設立を支援する。</p>
		<p>■ 交付金等活用自治組織数 137組織(H29) → 152組織(H32) H30実績 … 151組織 【B】</p>	<p>・活用自治組織数は、14組織増加し、151組織となった。</p>	<p>・交付金等の活用の働きかけにより、町内会活動の促進、地域コミュニティの維持存続を図っていく。</p>
(2) 横断的分野	② 老朽化対策	<p>■ 市営住宅管理戸数 377戸(H29) → 357戸(H32) H30実績 … 377戸 【B】</p>	<p>・長寿命化計画どおりの計画的な改修ができています。</p>	<p>・改修については、引き続き、長寿命化計画に基づき計画的に進めていく。 ・老朽化住宅の取り壊しについては財源を含めR2年度の課題である。</p>
		<p>■ 市道舗装補修 1,550m(H29) → 3,500m(H32) H30実績 … 311m 【C】</p>	<p>・市道安比上野川原線の舗装補修を実施した。</p>	<p>・既存ストックの維持管理と社総交を始めとした財源を確保する。</p>
		<p>■ 橋梁補修(再掲) 6橋(H29) → 12橋(H32) H30実績 … 5橋 【A】</p>	<p>・大築橋、他4橋の補修を行った。</p>	<p>・斗米橋は継続、上野橋の整備を実施する。 ・R3に実施する定期点検に向けた、既存ストックの精査を行う。</p>
		<p>■ 水道普及率 97.5%(H29) → 97.5%(H32) H30実績 … 97.6% 【A】</p>	<p>・新設工事については減少傾向にあるが給水区域内人口も減少するので、普及率は横ばいから微増の見込みである。</p>	<p>・未普及地域について、配水管の布設予定はないので現水道事業計画区域内での普及率の増加は見込めない。</p>
		<p>■ 汚水処理人口普及率 59.8%(H29) → 68.9%(H32) H30実績 … 61.7% 【B】</p>	<p>・浄化槽切替接続費補助金、水洗化リフォーム補助金により利用促進向上に努めた。 ・市設置型浄化槽整備基数が増加したことで、汚水処理人口の増につながった。</p>	<p>・公共下水道整備、浄化槽設置などインフラを整備するとともに、補助金制度の周知により接続を促進する。 ・新整備区域設定、既設区域縮小など整備計画見直しを行う。</p>
		<p>■ 上水道管路の耐震化率 49.3%(H29) → 53.0%(H32) H30実績 … 49.7% 【A】</p>	<p>・前期計画の前半は、導水管の布設替えを中心に、後半は配水管の布設替えを行った。</p>	<p>・計算上は5km/年で更新していかなければ、耐用年数経過の配水管等の解消はできない。補助金を活用し、他課の事業と連携しながら、計画的に更新していく。</p>